

EVENT 32 MARKETING

February 28, 2018

特集
空間で伝える・
届けるデザインのこと



今月のレポート
INCON 京都編

発行所：株式会社 MICE 研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABCビル 5F
TEL03-6721-5303 sofu@event-marketing.co.jp

TAKE FREE

www.event-marketing.co.jp



空間の質 コミュニケーションの質

コンクリート打ちっぱなしのガランとした会場やもともと空き地だったスペースのさらの状態を知っていれば、なおさら、展示会でずらっと立ち並ぶブースやライブで存在感あふれるステージの壮観な世界に、圧倒される。

でも、何度も足を運んでいるうちに、その景色を当然のように歩いていた。

特集で、空間で伝える・届けるデザインの

ことを取材して、言葉を文字にして伝えたり、届けたりするのは明らかに違うと感じる。2次元から3次元へと軽々と超える表現者の存在、表現の幅を広げてくれる部材や素材の開発者の存在に気づかされ、改めて展示会やイベントに行くのが楽しみになった。

もちろん、つくり手である制作陣の存在も忘れてはいけない。2月初旬まで開かれてい

た「空間をみせる図面展」という小さな展示会に足を運んだとき、図面の端に鉛筆でメモ書きがあり、そこには『多くの美術の場合、仕事として関わる様になるタイミングはあらかじめ企画が固まり、最後に声をかけられる事が多い...』と思いが綴られていた。その図面の仕事は、最後ではなく、企画のはじめに参加して『記憶に深く残った』そうだ。そし

て、その図面には、アイデアの発露となった打合せのちょっとした会話や、提案後の反応、ボツになったけれどそれでよかったという自身の感想に至るまで、事細かに記録されていた。空間に造形していくプロセスに、コミュニケーションがいかに有効なのか語られていた。

「早いに越したことはない」

そのメモ書きの本人と偶然にも話せることができ、発注するときのアドバイスを聞くと、この一言が返ってきた。

(表紙協力：ビデオ・藤原祥太さん)

10万人を超える展示会から数十名のセミナーまで 担当者1人で楽々！イベント運営管理サービス

申込サイト
作成

申込受付
決済

参加者
管理

受付・
来場者対応

集客広告
プロモ

来場者
行動分析

スマホ・
アプリ対応

来場者
アンケート



まずはお気軽に資料をご請求ください！(24時間対応)
http://info.eventregist.com/dl_premium



イベントレジスト株式会社

<http://eventregist.com>
[お問い合わせ] contact@eventregist.com | 03-6869-5592



空間で伝える・届けるデザインのこと

紙面上で空間のことを伝えるのは、とてもむずかしい。紙面上の空間は「目で見る」行為だけれど、リアルに出会う空間（展示会ブースやポップアップストア、ステージ）は「身体で感じる」行為だから。そもそも届け方が違う。改めて、空間デザイナーのアウトプット力に脱帽すると同時に、インプットする側のパワフルさを感じる。空間づくりの裏には、たくさんの伝達リレーがあるのだ。

トレンド

サービス体験を届ける

Amazon Holiday 2017 ポップアップストア

Amazonの年末ビッグセール「サイバーマンデーセール」の開催にあわせ、12月8日から11日の期間限定で渋谷マルイ・渋谷モディに出現した「Amazon Holiday 2017 ポップアップストア」。Amazonのタイムセール商品の一部を実際に見られ、サイバーマンデーセールをリアルタイムで体験できる初のポップアップストアイベントだ。

今回、会場となった渋谷モディには期間中約60,000人が来館、「サイバーマンデーセール」期間のセール商品の総販売数は、前年の同期間の約3倍となった。ただし、「Amazon Holiday 2017 ポップアップストア」での商品販売はなく、来店者にはあくまでAmazonの「サービス体験

を提供することが目的だ。このポップアップストアで、リアル体験の初提供に至った理由について、アマゾンジャパンは、「ホリデーシーズンは、一年でもっとも多くのお客様がAmazonをご利用になる時期で、その数は年々増えています。Amazonで日頃よりお買い物を楽しまれているお客様だけでなく、初めてオンラインショッピングを利用してみたいという方にも、Amazonの豊富な品揃えや利便性の高いサービスをご体験いただきたいと思い、オープンしました」と話す。

なお、ホリデーシーズン中の1週間で、世界で400万人以上がAmazonプライムの無料体験または有料会員に登録したという。



渋谷モディの1階に設けたステージエリア(写真左):ポップアップストアのアクセントはクリスマスツリーやデジタルサイネージのデザインを工夫した。Amazon Echoシリーズのタッチ&トライのコーナー(写真右):会場内の騒音を拾わないようなレイアウトにするなど、各体験ブースの設営・環境にも配慮



百言は一形に如かず

株式会社フジヤ

言葉で伝えるより、形にして表現し、伝えたいと想うことがあり、今デザイナーという職業につきました。その中でも空間が大好きです。

よく、「言葉数が少ないね」「飄々としているね」と言われます。頭の中で様々な事を妄想したりイメージしていると、意識がそれに偏り、言葉での表現が少なくなり、ボーッとしているように見えるみたいです。でも、頭の中で思い描く空間が見えてきて「伝えたい」時は、自分なりに必死に伝える術を使います。言葉が先行しないため、一見熱量が少なく思われがちですが、実際伝える場での内に秘めた熱量は高いです。

主な活動フィールドはイベント空間デザイナーとして展示会ブースに

第36回ディスプレイ産業奨励賞(2017)を受賞した
CYBERDYNE
ショールーム(上・下)



クライアントの意向を汲み取り、こうするべきではないかという強い思いを絵や図面にのせて届けていきます。
(東京CC統括部 デザイナー 荒木秀暢さん)

携わることが多いのですが、人が交わるコミュニケーション空間が好きなので、企業ショールームやオフィス、物販店も手掛けています。この先も、

クライアントの意向を汲み取り、こうするべきではないかという強い思いを絵や図面にのせて強くクライアントに届けていきます。



デザインの在り方

株式会社ジールアソシエイツ

どんな案件でもデザイナーに課せられているものはクライアントの課題をいかに解決して利益をだすかだと考えています。自分が仕事を進める上で気をつけていることは本質を

見落とさないことです。クライアントの課題の本質がしっかりと理解していれば考える視野が広がり、一つのアイデアに縛られることなく別のアプローチから最適な解答を導き出すことができると考えています。

空間デザインの能力でいうとグラフィック、映像、インタラクティブ等様々な要素が入ってくるのでそれらの要素が単体では発揮できない力を

課題解決のためにすべての要素がつかえることが大切(蜂谷亮平さん)



掛け算の様に発揮できる媒体だと思っています。もちろん見た目や素材、空間としての素晴らしさは大事ですが、本当に重要なことは上で挙げた様にそれらがすべてある課題を解決するためにつながっていることだと思います。



左) USHIO LIGHTING /ライティングフェア 2017
照明だけでなく、さまざまな技術を持った提案ができることをアピールするため、製品展示ではなく製品によって作り出すイメージを展示した
右) SENNHEISER/Inter BEE 2017
壁面グラフィックと製品展示を合わせて展示することで製品の訴求能力をあげた

up to date designing
FUJIYA

http://www.fujiya-net.co.jp

ココロ トコロ
印象に残る いい空間を創ります

展示会・イベント・商空間の
企画、設計及び施工
のことならフジヤへ



展示会・イベント | サイン・ディスプレイ | 商業施設 | コミュニケーションスペース | 文化・学術施設

株式会社 フジヤ

東京本社 〒135-0061 東京都江東区豊洲 5-6-36 ヒューリック豊洲プライムスクエア 3F
TEL: (03)5548-2811 / FAX: (03)5548-2821 E-mail: tokyo@fujiya-net.co.jp

札幌・仙台・横浜・浜松・名古屋・京都・大阪・神戸・岡山・広島・北九州・福岡・シンガポール



「喜び」をレイアウトする

私たちボックス・ワンは、展示会や各種イベントにおけるデザイン・設計から制作・施工および、運営サポートまでをワンストップサービスでご提供する「展示総合ディスプレイカンパニー」です。お客さまのニーズと目的にお答えする様々なコミュニケーションスペースを創造いたします。

EXHIBITION-FITTER





重過ぎない、軽過ぎない

株式会社ボックス・ワン

写真のデザインは、3連アーチによってブースの空間をしっかりと作りだして、構造物と空きのバランスを考えながら重過ぎない、軽過ぎないバランスを追いかけました。ブース内には十分な光量が確保される設

計になっています。

こうした構造物

以外にもディスプレイ用のアクリル制作になりますが、レーザーカットを使用することで展示品を際立てる工夫も大事にしています。



シンプルでわかりやすくデザインの基本にありますが、直線的なデザインが自分の中では得意なかもしれません(チーフデザイナー 馬場智史さん)



商品に寄り添った空間づくり

株式会社アディスマユース

「売れる売場づくり」という考えを基本に、商空間づくりの企画・設計・施工をしています。

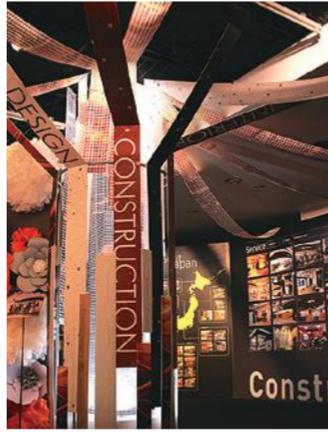
マネキン、什器のレンタル・販売を創業当初から続けていることで、アパレルや百貨店などの商空間をしているイメージが強いと言われることもあります。イベント展示会の設計・施工まで幅広く、業種のジャンルもここ10年で様変わりしてきました。

商品陳列を担当するデコレーターさんに近い立ち位置で企画・デザインをしています。空間全体からのアプローチとは逆に、商品起点からのアプローチで、プライベートショーの企画や販促物の提案などに発展するケースがふえてきました。

パース図のインパクトのある全体デザイン提案もそうですが、商品への光の当て方など部分のケアができることを意識しています



(営業本部 デザイン室/ 森大樹さん)



プライベート展「ADDIS GENOME」では、最新マネキンから什器、施工事例までOne Stopの提案力を表現した



見えない“気流”を表現

サクラインターナショナル株式会社

昨年4月に幕張メッセで開催されたGastechは海外企業の出展が多く、あちこちで天吊りをしていたのが日本ではあまりない光景でした。当社は海外企業のブース制作を多く手がけているので、天吊りデザインの経験があり、それ自体は珍しくはありませんでした。

しかし写真のブースでは、メインの展示品が気流システムで、“AIR”をメインコンセプトとする表現には苦労しました。

天吊り部分に布を張って、風をあ

てることは決まったのですが、布材質や形状、風をどうやって送るかは試行錯誤の繰り返しでした。何度も電気屋さんに通い、冬なのに扇風機をアレコレ選んでいました。

パース図を書いたり、実験を重ねても、風がどう吹いて、布がどう動くかは現場でないとわからないので、ドキドキしました。



これからも顧客が求めるイメージを具現化していきたいですね。(デザイナー 名嘉朝樹さん)



気流を表現したGastech日揮ブース



Experience Design
— 世界に「驚き」と「感動」を。 —

株式会社ジールアソシエイツ
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3-4-14 FORECAST人形町PLACE 3F・6F
TEL:03-5652-6217 FAX:03-5652-6217 www.zeal-as.co.jp

face to face を科学するイベントメディア

オンラインも強い

EVENT MARKETING

最新ニュースやアーカイブ、
バックナンバーも読めるウェブサイト

特集記事の裏話や
イベマケ編集部
の日常がわかるメルマガ

<http://www.event-marketing.co.jp>
Facebook と Twitter もやってます

お客様の「明日」を創るため

Salon du Chocolate @Paris

Gastech @Makuhari Messe

安全管理も自社一貫体制

お約束した企画・デザインの最大効果を発揮させます。

SAKURA International Inc.

<http://www.sakurain.co.jp>

東京本部 Tel: 03-5646-1160
〒135-0048 東京都江東区門仲町2-5-9
深川三和ビル 4F

大阪本社 Tel: 06-6264-3900
〒541-0051 大阪市中央区備後町1-7-3
ENDO堺筋ビル3F・4F

モジュール

和のショーケース Cha no ma

和の空気感を上手に伝える「Cha no ma」は、伝統素材の竹や和紙を使った室内モジュール。たとえば、海外展示会で、楽焼をぼんと置き、技法や伝統を説くだけでは伝えきれない活用のシーンを和の素材でつくられた空間全体で届けることで、伝統工芸品などの“モノ”の価値を増幅させる。展示空間だけでなく、瞑想、みせるクローゼット、茶会など用途は多様。女性2名でも組み立てられることを想定した簡単設計で、組立所要時間は30分程度。レンタル応相談。



(有)スペースマジックモン 代表取締役 山下順三さん
京都にオフィス構え、内装設計などのインテリアデザイン、ロゴ・コミュニケーションツールなどのグラフィックデザイン、伝統工芸の海外展開支援などの総合プロデュースを手がけています。



「Cha no ma」(価格:86万2380円、面積:3.69㎡、サイズ:192×192×201.5cm)

部材

今年のSNSはパレットが映える PALLET DEPO

アパレルやフットウェアブランドなどに欧州からの中古パレットを提供している「PALLET DEPO (運営はエスコット株)」が展示会やイベントの演出向けのパッケージブランの販売を開始した。

アパレルメーカーでは中古パレットのワイルド感を活かしたり、塗装によるエイジング処理を施したインダストリアル感のある演出が好ま



エスコット株 代表取締役 土器 苗歩さん、
中古パレットの有効活用は、循環型社会の実現に貢献する企業のCSR活動の一環としても評価されています。

れ、店舗のインテリアや陳列什器として活用されている。

中古パレットは強度が高く、レイアウトへの柔軟な対応や現場加工が容易で、欧米では、展示会やイベント会場の設営、店舗のディスプレイなど日々活用の幅が広がっている。

「ユーロパレット」50枚セット:108,000円(税込、送料16,200円)、100枚セット:216,000円(税込、送料32,400円)



ファブリック

フランス生まれ DROP PAPER

「DROP PAPER」はガラス繊維を含有する不織布の紙素材。紙の持つ軽さや風合いはそのままに、カールやヨレがほとんどなく、防火性能も持つ新しい内装素材だ。植物由来のセルロースを主成分としており、環境にもやさしい。



「DROP PAPER」新色として3種類の蛍光色が加わり、カラーバリエーションがさらに充実。規格サイズが巾2400mmで、迫力のあるディスプレイを創出。(株)バック

部材

展示会のブースシステムといえば オクタノルム

展示会場でもっとも使われている装飾ツールは、おそらくこの八角形の銀色の柱、「オクタノルム」だろう。

短時間で簡単に施工ができること、耐久性が高く繰り返し使えるエコ仕様、さまざまなアクセサリによるデザイン性、安全性など、施工から2~3日で解体してしまう展示会に適した部材として、広く普及している。パッケージブースだけでなく、意匠をこらしたデザインブースにも使用されている。

オクタノルムは4.3mmの8本の溝(スリット)にビーム(梁)とポール(柱)をテンションロックという機構で固定する。4mmのパネルを溝にはめ込み壁面、棚、ブースを専用ラケット1本で簡単に組み立て解体ができるのが特長となっている。

また、同社ではオクタノルムと並び広く使われている「マキシマライト」もラインナップ。スリット幅がオクタノルムと同じ4.3mmで、組合せや部材の共有ができる。直径サイズが



(株)オクタノルムジャパン 代表取締役 瀬戸健之介さん
2014年に代表に就任。「昨年オフィスとショールームを移転・拡大しました。部材やアクセサリを多数取り揃えています。ぜひご来社ください。」

「OCTANORM S-100」(直径400mm)



40mm/80mm/120mm、形状も四角形と丸形のほかにバリエーションが豊富だ。強度が高く補強部材も多いため、大型ブースなどの構造物に適している。

その他ファブリック用のフレームも浸透しつつあり、そのデザイン性の高さから店舗やオフィスなどの需要も高まっている。



イベント演出 X 中古パレット

頑丈な中古パレット再利用で
インダストリアル感の演出と
CSR活動(自然保護)を訴求



☎ 03-6823-4726

活用事例 ▶ <https://palletdepo.net/>

エスコット株式会社 〒170-0013 東京都豊島区東池袋 5-7-3 長島ビル 10F





研





Venue
Event
Community

集い、交わる場(中規模スペース・ベニュー/イベント主催者)を企画・運営するひとたちが集まって、べちゃくちゃおしゃべりしながら、よりよいベニューづくりを考えるコミュニティ

2020年へ向けてチャレンジ!

“ イベントを 総合力 ”

レントオールグループのビジョン

私たちレントオールは、グループの強みである総合力と人材力そして挑戦する企業文化をもって、お客様のパートナー企業として最善の成果をお届け致します。今後も時代の変化をすばやくキャッチし、新しいレンタル商材の開発を進めながらハード面とソフト面のノウハウを高め、両輪で提案できるイベントレンタル部門を目指してまいります。



企業力の
スパイラル的な
向上

1 新しい分野に挑戦するエネルギー

2 人材の育成

3 ソフトの開発
ITを取り入れた新しい市場開発

4 データ化、システム化による情報の共有化・見える化の推進

5 イベント業界を牽引する
トップランナーとして役割を担う



～イベントを成功させる総合力～

総合レンタル業のバイオニア
西尾レントオール株式会社 レントオール事業部

TEL : 03-6809-5548 FAX : 03-3769-9249
HP : <http://event.nishio-rent.co.jp/>

2018 2018年の展示会トレンドを考える

<その3> UBM ジャパン

展示会場にいれば
耳でその産業のエネルギーを体感できる

UBM ジャパン株式会社
代表取締役 社長 クリストファー・イブさん



2017年を振り返る

2017年は良い年でした。
今年1月にUBMメディア株式会社/UBM ジャパンホールディングス株式会社をUBM ジャパン株式会社に統合しましたが、昨年2社で展開してきた製薬/ファインケミカル、医療機器、健康、海事・航空、IT & ネットワーキング、ジュエリー/ファッションのすべてのセクターで、展示会規模が拡大、来場者も増え、全セクターが強かったですね。

特に、製薬/ファインケミカル、医療機器、健康では勢いを感じました。個人的に経済状況のパロメーターだとみている展示会に「コールセンター/CRM デモ&コンファレンス」がありますが、昨年の会場は非常に活気がありました。経済が冷えている時には、展示会場も静かになるんです。私は1994年から展示会ビジネスに従事していますが、24年いると展示会場にいれば、耳でその産業が元気かどうか、体感でわかるようになりました。昨年ほどの展示会も

ざわめきが大きかったですね。
また、国内だけではなく、海外展示会への日本企業の出展も伸張しており、国内外ともに日本企業の活力を実感しました。

UBMグループでは世界各国で500を超える国際展示会や国際会議の主催・運営を行っており、グループ主催の展示会時には、UBM ジャパンが日本企業の出展・海外進出のサポートをしています。なかでも、6月・9月の「香港ジュエリー&ジェムフェア」では、日本企業の信頼が厚く、海外からの評価は高かったですね。同じく香港の美容の展示会で、「Cosmoprof Asia」では日本からの出展がふえ、ジャパンパビリオンが拡大しました。

これからの展示会
マーケティング

展示会ビジネスから日本経済をみると、長い期間デフレとビジネス低迷期を経て、この6~7年は元気を取り戻しているのを感じます。

ずっと厳しい時期を過ごした分、その期間がビジネスノウハウの学びになっているのではとも思いました。展示会での出展企業の姿勢にも変化がみられ、以前はおつきあい出展や業界のお祭りのような表現をされることもあったのですが、いまはビジネスの場として、新規クライアントのリード獲得などマーケティング機能としての理解が深まってきています。

具体的には出展準備から、ブースディスプレイシステムの選択、テクノロジー導入、プレゼンテーション手法など、年々レベルが高まってきて、企業全体の戦略として展示会が使われています。欧米のように展示会が受発注の場になっていないという指摘もありますが、それは日米でのビジネス流儀の違い。大雑把に言えば、決定権をもつ人が展示会にいるかどうかの差異で欧米とは異なりますが、日本にとって展示会はコンタクト先としてビジネスのファーストステップであり、段階の違いさえありますが、マーケティング手段であることに変わりはありません。

M E M O

FINANCIAL TIMES 誌は1月17日(ロンドン時間)、InformaがUBMを買収し、英国に上場しているコンベンション・ビジネス情報サービス事業者を集め、市場価値が90億ポンド以上の企業を創出する契約で、UBMを取得するための詳細な協議を行っている」と発表した。1月30日(同)には両者の取締役会がこの提案提携条件を正式に確認。提案内容によると、UBMの価値を約39億ポンドで評価している。



健康寿命延伸産業のビジネス展示会「健康博覧会」(1/31~2/2@東京ビッグサイト)の会場にもざわめきが響く

REPORT

国際観光コンベンションフォーラム 2018 in 長崎
国際競争でいかに光を放つか?

2006年から全国の都市で毎年開催されている「国際観光コンベンションフォーラム」(主催:日本コンベンション研究会)が、今年度は2月に長崎市で開催された。2日間の日程に、全国からMICE関係者140名余が集まり、講演、分科会、長崎市長の特別講演、座談会、さらにエクスカッションなど、多彩なプログラムが展開された。

基調講演 I

「光の街」長崎が輝くまで
長崎ランタンフェスティバル企画幹事会相談役 林敏幸氏

「中華街はどこですか?」観光客からの質問に、林氏は衝撃を受けたと言う。四半世紀前の長崎では、『観光地としての中華街』が見えづらかったと林氏は振り返る。「ハウステンボスの一人勝ちに危機感を抱いていた。もっと中華街にも観光客を呼び込む工夫をしなければいけない」と思い立ち、赤い提灯をヒントにランタンフェスティバルを企画した。

しかし最初は、苦勞の連続だったと言う。「予算をつけたが、何をやっていかかわからない。市役所は応援してくれたが、地元の人の意見はノーだった。地元理解が得られなければ、祭りは成功しない。林氏は粘り強く、説明を繰り返した。「すぐに辞めない。相手を立てる」それを合言葉に決め、何度も説明に足を運んだ。

そんな努力が実を結び、当初は反対していた商店街の人も、「としぼうがここまで言ってるんだから、1回くらいはやらせてみようか」と意見を变えてくれた。帰り道は涙が止まらなかったと言う。

基調講演 II

日本 MICE は国際競争に
どう立ち向かうか
観光庁 MICE 推進室長 井上孝氏

2017年度に過去最高の2869万人を記録した外国人観光客は、今後も更に増加すると見込まれている。井上氏は、「法人や団体はお金の使い方が個人と違う」と述べ、全体の2割を占めるMICE関連の消費額データを紹介した。その一方で、「候補地として、日本の世界でのプレゼンスは徐々に低下している」との危機感を示し、今後の政策目標と、具体的な取り組みを紹介した。

MICE誘致では、ハードとソフトを含めていかに魅力をセールスするかが鍵となる。「強みは官と民のお互いにある。いかにタイアップしていくか?という視点で、民間に自由度を与えることが大事だと考えている」と井上氏は言う。その上で、「肝心なのは共感力の創成。メリットを可視化しながら進めていくことが大事だ。良いサービスを生むためには、当事者間でよい意味での緊張関係が必要だ」との見方も示した。



会場は長崎ブリックホールで開催。林敏幸さん(写真右上)井上孝さん(写真右下)

博覧会・展示会の企画に参画させて下さい。



飯田電機工業株式会社

http://www.iidae.co.jp/

- イベント事業本部 〒136-0082 東京都江東区新木場1-8-21 TEL 03-3521-3522 FAX 03-3521-3524
- 千葉事業所 〒261-0025 千葉県千葉市美浜区浜田2-38 藤原ビル TEL 043-273-2441 FAX 043-273-2531
- 池袋サンシャイン事業所 〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-1-4 文化会館3F TEL 03-3982-9551 FAX 03-3982-9564
- 大阪事業所 〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座1-9-9 阿波座パークビル TEL 06-6543-2880 FAX 06-6543-2884
- インテックス大阪事業所 〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-5-102 インテックス大阪内 TEL 06-4703-5401 FAX 06-4703-5402
- 本社事業本部 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-7 表参道IIDAビル TEL 03-3409-3333 FAX 03-3409-0104
- 東北事業所 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町2-10-17 仙台一番町ビル TEL 022-716-2077 FAX 022-716-2078

□ 本社 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-7 TEL 03-3409-3331 FAX 03-3409-3827



株式会社 川口屋
エキシビジョン部

- 展示会、セミナー・プライベートショー等の企画・施工
- 主催者様のサポート業務
- 出展ブースの装飾施工

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 4-2-12 Tel 03-3270-0928 Fax 03-3270-0584
E-mail expo@kawaguchiya.com URL http://www.kawaguchiya.com

*INCON:International Conference Network Limited
会議案件情報や顧客情報を共有することでビジネスを発展させることを目的に1990年初頭に発足した世界を代表するPCOの提携組織。現在メンバーは10社で日本ではJCSが2003年に加盟
*IAPCO:THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF PROFESSIONAL CONGRESS ORGANISERS

INCON 京都編 | IAPCO 東京編 オーセンティックな出会い



京都金閣寺前にて

2018年2月の第2週目は、PCO(Professional Congress Organizer)コンベンションの企画・運営専門企業)業界にとって記憶に残る1週間になった。INCON役員会(2月5-6日/京都)、IAPCO総会(2月7~10日/東京)と、2つの国際的な行事が続いた特別な年だったからだ。業界41年の経歴をもつ新井立夫さん(日本コンベンションサービス(株)執行役員)が「INCON役員会の日本開催は初、またIAPCOは設立50周年の節目でもあり、この機会を日本で迎えられるのは貴重」と話した1週間を、ホスト国として日本のPCO、開催地はどう対応活用したのか、2回にわたって伝えたい

6カ国・11名の役員京都へ

2月6日、京都の光峯錦織工房ではINCON役員会への参加メンバー6カ国(イタリア、メキシコ、スイス、トルコ、オーストラリア、日本)11



錦を織る高機の実演を見学するメンバー。中央が新井立夫さん(日本コンベンションサービス(株)執行役員)

名が、錦織の布を使った和の小物づくり、互いの出来・不出来に軽い冗談を飛ばしながら、和気藹々と錦織体験に興じている。故郷に「錦」を飾るという慣用語にもある錦織は日本の絹織物の最高峰。光峯錦織工房はその伝統の技をいまに伝えるものづくりの現場だ。伝統体験をして約2時間を過ごした後、金閣寺(鹿苑寺)を回り、京都のMICE関係者との懇親会はユニークベニューである「ザソウドウ東山 京都」(近代日本画の先駆者、竹内栖鳳の旧私邸)で開催

された。

京都2日目のこのメニュープランは、京都文化交流コンベンションビューローによるコーディネート。前日からの、国立京都国際会館でのINCON役員会を午前中に無事に終えたメンバーへのおもてなしの意味合いもあるが、決してそれだけではない。INCONは、1国1社が原則で、国を代表するPCOで構成される。数年先の何千〜何万人が参加するMICE案件の実質的決定権をもつ。INCONメンバーの訪問は、開

催地にとって役員会の会場やプログラム自体が、いわばプレゼンの場だ。そのため、年に2回の役員会は、世界中のホテル、コンベンションビューローからのバックアップのもと誘致される。

今回日本でのINCON役員会は、(公財)京都文化交流コンベンションビューロー、国立京都国際会館、ホテルグランヴィア京都の3団体による共同主催、さらには京都市の協力を得た形で開催された。

PCO業界のグローバルトレンド

INCONの日本メンバーとして日本コンベンションサービス(株)(JCS)から役員会に参加した新井立夫さんは、PCO業界のグローバルトレンドと日本の動向をこう語る。

「ミーティング産業はネットワークの上に成り立っています。グローバルトレンドをみても、コアPCOと呼ばれる、主催の立場ではないが会議開催地決定権者(ディビジョンメーカー)の存在があって、現場は開催地の地元PCOで運営する体制が国際会議・学会の世界では主流。欧州ではその傾向が強いですね。米国と日本は国内市場が大きく、国内会議中心で成立していましたが、近年そう言ってもいられなくなってきました。

各国のコアPCOとアライアンスを組むINCONもこうしたトレンドに対応しエリアマーケティング戦略の機能を有しています」

INCONでは、マーケティング側面のほか、自社の経営課題、教育研修、CRM・イベントアプリなどのテクノロジーの使用感など、ナレッジシェアし、レベルアップやミーティングクオリティを保っている。

「INCON、IAPCOの開催期間、日本にこれほどの関係者が集まることはめずらしい。だからこそネットワークの糸口をつかむ絶好のチャンスなんです」(新井さん) (次号IAPCO東京編につづく)

Sustainability テーマに コアPCOへアプローチ

(公財)京都文化交流コンベンションビューロー
松井 良彰さん
(国際観光コンベンション部 MICE課 課長補佐)

昨年、京都で開催された世界神経学会議をはじめ、誘致プロセスがコアPCOによりマネジメントされる国際会議をいくつか経験しました。今回はコアPCOが集まるINCONの皆様に実際に京都を体感し、もっと身近な国際会議開催地として認識してもらえればと思い、「Sustainability」をテーマとしてアレンジさせていただきました。伝統産業製品で作られたコングレスバックやネックストラップの使用、京都市ビジターズホストの引率による工房体験、文化財を活用したユニークベニューでの懇親会などを通じ、文化・歴史を継承して活用していく京都の魅力を伝えられたと思います。

64 電力

処理能力 需要

100%

うちが何の仕事をしているかこれで伝わるかな?

施設やイベント会場のポテンシャルと、企画者の演出ニーズに合わせた電力設計をする、と補足しておきます。

株式会社 鈴木電機

〒111-0033 東京都台東区花川戸 2-12-5
TEL 03(3842)8201(代) FAX03(3845)3040
URL: http://www.suzukidenki.co.jp

EVENT MARKETING からの大事なお知らせ

**機能・環境提供+価値共創する
スペースのいま** (仮題)
次の3月31日号で特集します

ひらたく言うとイベント会場特集だよ

- 4月30日 集客を増幅させるテクノロジー
- 5月31日 イベントのケータリング
- 6月30日 映像・照明・音響、イベント演出の最先端
- 7月31日 体験価値を可視化するマーケティングテクノロジー
- 8月25日 BACKSTAGEの歩き方

広告出稿の間合せはこちら▷株式会社 MICE 研究所
info@event-marketing.co.jp (担当: 田中力)

HOT SCAPE
EVENT PROFESSIONALS | VENUE CONSULTANT

Make it Communication
コミュニケーションを形にする

企業・団体からの直接受注にこだわるイベント企画・制作・運営会社です。クライアントニーズに沿ったベストの選択をし、ワンストップで提案・制作を行います。それらの経験を活かし、関連施設のコンサルタント・運営も行っております。

**イベント
企画・制作・運営**

**施設
管理・運営**

**プロジェクト
コンサルティング**

主催セミナーのご案内

第4回 HOT SCAPE Biz セミナー
イベントのリスクヘッジ
～イベント保険を考える～

HOT SCAPE Biz Seminar

3月27日(火) 18:45～
(18:30 受付スタート)

会場: AP 新橋虎ノ門

株式会社ホットスケープ

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-16-4 アーバン虎ノ門ビル 8F
TEL: 03-6205-7197 / FAX: 03-6205-7198
http://www.hotscap.co.jp/

事業化視野にスケールアップ

— Japan Drone 2018

本格的な民生用・商業用ドローン市場に特化した展示会と国際会議を行う「Japan Drone 2018」が3月22日から24日の3日間、幕張メッセで開催される。

3回目の開催となる今回は、「ドローンの事業化」がテーマ。ドローン製造や、カメラ、データ通信、赤外線計測器などの関連分野のほか、撮影、物流、施設点検、災害対策などのドローンを利用した各種サービ

スマで、幅広い産業分野150社の出展品を目当てに、ビジネスユーザー・一般ユーザー約1万人が集まる。

2日間で全20セッション行われる国際コンファレンスのほか、ワークショップ、フライトショーケース。Drone Movie Contest、ドローンレースなどさまざまな併催イベントが会場を盛り上げる。

展示会の入場料は2000円(税込)ただし事前登録者、招待状持参者は

無料になる。国際コンファレンスは1セッション税込みで6000円(3月9日までは早期割引で税込5000円となっている)。

政府の掲げる「日本再興戦略2016」に盛り込まれるなど、注目が集まるドローン分野の最新トレンドが幕張メッセから世界へ発信される。



事前Web登録はこちら



展示会営業のノウハウ支援が好調

— ピュア・コンサルティング

中小企業を中心に営業支援を行うピュア・コンサルティングが、展示会出展のノウハウを提供し、支援企業を出展効果向上に貢献している。

同社代表の清永健一さんは、成績が伸び悩んでいたケーブルテレビ会社の営業職の際に、展示会出展を担当。売り込むのではなく、教えることで、多くの顧客を得たことをきっかけに展示会出展のノウハウを蓄積しはじめた。その後メガバンク系コンサルティング会社での勤務や中小企業診断士取得を経て、営業コンサルタントとして独立。これまで1195社の営

業支援を行ってきた。出展後6か月で4300万円の売上や、受注3.7倍、セミナー受講者からの成約率63%と大きな成果をあげている。

「小さな会社こそ、展示会で稼げ」をモットーに、ウェブや訪問営業で、成果を出しづらな中小企業を支援。経営者や販促担当者へ、さまざまなノウハウを提供、展示会出展の実践支援、出展後の営業フォローの指導などを行っている。

コンサルティング希望者・企業はまず参加費5,000円の定例講座「展示会営業術セミナー」を受講し、導

入する場合には、数人から15人程度の展示会担当グループを組織し、5時間×4回の研修を行う。

— 書籍プレゼント —

“出展コストの33倍売り上げるノウハウ”と銘打ったAmazon部門1位を獲得した清永さんの著書「飛び込みなして「新規顧客」がドンドン押し寄せる「展示会営業」術」を読者20人に無料プレゼント。希望者は、<http://1.tenzikai.jp/evemake> からご登録ください。



無料プレゼント希望者はこちらへ



新 MICE 施設通称は「パシフィック横浜ノース」に

— パシフィック横浜

2020年春開業予定の新 MICE 施設の正式名称は「横浜みなとみらい国際コンベンションセンター」。通称は「パシフィック横浜ノース」となる。新施設には5,000人規模のパーティが可能な多目的ホールを備え、大型 MICE 誘致強化が期待される。



パシフィック横浜ノース施設外観パース図

イベント保険って？に答える

— 第4回 HOT SCAPE Biz セミナー

施設のコンサルティング・運営、イベント・MICEの企画・運営を行うホットスケープは、長年にわたる実務経験やノウハウをフィードバックし、業界の発展とイベントを取り巻く環境の健全化に貢献するため、年に3~4回「HOT SCAPE Biz セミナー」を実施している。

3月27日にAP新橋虎ノ門で行われる第4回セミナーは「イベントのリスクヘッジ~イベント保険を考える~」をテーマに、同社代表取締役の

前野伸幸氏と、はげん設計(株)取締役副社長の長尾博康氏が登壇する。

テーマとなっている「イベント保険」は、保険の種類のことではなく、倍書責任保険や障害保険などの組合せで構成されていることなど、意外と知られていないことが多い。イベントで起こりうるリスクを事前に想定して的確に対処することなどを、保険のプロ、イベントのプロの視点で語り合う。

入場は一般4000円、3月6日までの早割は3000円となっている。チ

ケット購入やイベント詳細はhttp://eventregist.com/e/hotscape_Biz4 まで。



前回のセミナーではIRをテーマに。会場選びや集客など毎回イベント開催者が気になるテーマを設定している

申込はこちら



IR 参入に真打ち登場 日本文化と調和アピール

— MGM リゾーツ

MGM リゾーツ・インターナショナルのムーレン会長が来日。日本文化との調和や観光促進・経済発展への貢献をアピールし、日本 IR 参入へ意欲を見せた。また、元在日米国首席公使ハイランド氏の日本 MGM リゾーツ社長就任も発表した。



ムーレン会長



ハイランド社長

イベンター・マーケター向け 3月のセミナー・イベント

- 1日 Kaizen the World @渋谷ヒカリエ
- 1・2日 サステナブル・ブランド 国際会議 2018 東京 @ヒルトン東京お台場
- 2日 Startup Weekend Tokyo Fintech #3 @100BANCH
- 6~9日 第54回 2018 マーケティング総合大会 @東京コンファレンスセンター・品川 日経メッセ 街づくり・店づくり総合展 2018 @東京ビッグサイト
- FOODEX JAPAN2018 @幕張メッセ
- 8・9日 MarkeZine Day 2018 Spring @東京コンファレンスセンター・有明
- 8・9日 【関西】 Cloud Days 2018 @グランフロント大阪
- 8~11日 アートフェア東京 @東京国際フォーラム
- 9~18日 SXSW (サウス・バイ・サウスウエスト) @米国・オースティン
- 14~16日 第4回 CareTEX2018 @東京ビッグサイト
- 第16回国際オートアフターマーケット EXPO2018 @東京ビッグサイト
- シブヤンテリジェンスライブ 2018 @渋谷ヒカリエ 8F
- 16~18日 第18回 JAPAN ドラッグストア ショー @幕張メッセ
- 22~24日 Japan Drone2018 @幕張メッセ
- 23~25日 第45回東京モーターサイクルショー @東京ビッグサイト
- 24・25日 AnimeJapan 2018 @東京ビッグサイト
- 28・29日 SLUSH TOKYO @東京ビッグサイト
- 29~4/1 Interpets ~人とペットの豊かな暮らしフェア~ @東京ビッグサイト

次号予告 33号は3月31日発行 <特集> ~機能・環境提供+価値共創するスペースほか

1年以内に展示会に出る企業の**経営者様、出展責任者様**が絶対に参加すべき

「**出展コストの33倍売る!** **展示会営業®セミナー**」

特典 **成果が変わる! 30のチェックリストプレゼント**

講師: 中小企業診断士 清永健一 (amazonで2冊分野別1位の著者)
日時: 複数日程あり。13:30~16:30 場所: 新宿駅徒歩7分
主催: (株)ピュア・コンサルティング 03-4400-8883

展示会営業セミナー **検索** からお申し込み下さい

※紹介者欄に「イベントマーケティング特典」と記入すると参加料が無料になります。

~進化を続けるドローンの祭典~

Japan Drone 2018

— Expo for Commercial UAS Market —

第3回 ジャパン・ドローン2018

日時: 2018年3月22日(金)23日(土)24日(日) 10:00~17:30 最終日は17:00まで

会場: 幕張メッセ ●JR京葉線「海浜幕張駅」下車徒歩5分 ●JR総武線「幕張本郷駅」から「幕張メッセ中央」行きバスで約17分

●国際展示会 ●基調講演・特別講演 ●ドローン・イノベーションセミナー(テクノロジー&ビジネス)

併催イベント ●Drone Movie Contest 2018 ●Best of Japan Drone Award 2018 ●社会向けドローンスクール などイベント多数開催

出展予定カテゴリー ●ドローン(無人航空機)製造および関連分野 ●ドローンを利用した各種サービス ●その他サービスなど

来場対象者 ●ドローンを活用したい産業分野のビジネスパーソンや、ドローンのサービスを活用したいビジネスユーザーのあなたをお待ちしています。

●撮影・映画分野 ●施設・設備点検分野 ●物流分野 ●警備分野 ●農業分野 ●災害調査・支援分野 ●測量分野 ●運送・運輸分野

主催: 一般社団法人日本UAS産業振興協議会(JUIDA) 共催: 株式会社コングレ、株式会社スペースメディアジャパン 後援: 経済産業省、国土交通省、農林水産省、内閣府地方創生推進事務局、千葉県、千葉県市、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、国立研究開発法人産業技術総合研究所(AIST)、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)、イスラエル大使館<順不同>

協賛: 一般社団法人日本商業用無人航空機工業会(UJAU)、一般社団法人日本ドローンコンソーシアム、一般社団法人ドローン協議会、一般社団法人日本ドローン模型工業会(JRM)、一般社団法人ドローン撮影クリエイティブ協会(DPCA)、一般財団法人総合研究奨励会日本無人機運行管理コンソーシアム(UJTM)、学校法人日本航空学園、一般社団法人日本建築ドローン協会(JADA)、一般社団法人日本ドローン・ブランチ協会(JDLA)<順不同>

お申込み、詳細は公式webサイトをご確認下さい。 <http://japan-drone.com>

Japan Drone 運営事務局 (株式会社スペースメディアジャパン内)
〒102-0083 東京都千代田区麹町5-1 弘済会館ビル2F
TEL: 03-3512-5672 FAX: 03-3512-5680 e-mail: japandrone-info@smj.co.jp

家電・IoT

新感覚動画 #MagicClip で 世界観表現

— SnSnap

世界観を活用したマーケティングが進んでいるが、SnSnap (エスエヌスナップ、東京渋谷区) が1月31日にリリースした「#MagicClip (マジッククリップ)」は、スマートフォン (スマホ) のカメラアプリでは再現できないクリエイティブでブランドやアーティストの世界観を表現する。

ビデオサービス「#MagicClip」は、専用機材で撮影した動画の背景や持ち物へ予め用意された動画の合成やBGMの追加をリアルタイムに行い、新感覚な動画を生成できる。また、Instagram のストーリーズの縦型画

角にも対応する。

先日行われた同社のイベント「#SnSnap MEET&GREET PARTY 2018」では、実際にデモを実施。

参加者はフォトブース前で、①傘・帽子・サングラスの小物をもって動きのあるポーズを撮影、②自分のスマホで専用 QR コードを読み取る、③小物部分にだけ予め用意した動画が合成処理され、そのデータがメールで届く、という仕組みだ。

今回のリリースはβ版となっており、β版での導入は可能。



写真左の緑色の小物に注目。右の撮影データでは緑の部分だけ動画が合成されてスマホに届く

中小企業・ベンチャー向けデータ活用 月5万円から

— フロムスクラッチ

フロムスクラッチは2月5日、マーケティングプラットフォーム「b→dash (ビーダッシュ)」の大規模な機能拡充と、中小・ベンチャー企業向けに低価格で利用できる新サービス「b→dash Lite」を発表した。

大規模アップデート「b→dash Prime Update」には、AIによるデータ設計の自動最適化など、4つのコア・テクノロジーを実装し経営数値の分析やOne to One マーケティングなどを推進していく。

新プロダクト「b→dash Lite」は、中小企業やベンチャー企業向けで、従来ツールの6分の1の月額5万円からと安価な料金で提供。平均で約41日かか

ていた導入工数を3日程度に抑える。エンジニアやデータサイエンティストがいない企業でもデータ活用ができるようになる。

記者発表には、「b→dash」のブランドキャラクターとして起用されたお笑いコンビ「おぎやはぎ」も登場し、制作したCMの発表も行われた。CMはWebや都内交通機関を中心に放映される。



CM出演したおぎやはぎとフロムスクラッチ安部泰洋代表取締役(中央)

グローバルマーケティングの主戦場「CES」のリアル

— CES 2018 大報告会 in Shibuya !!

米国・ラスベガスで1月に開かれた世界最大の家電見本市「CES」。日本では開催直後からこれまでに、渋谷 EDGEof や FabCafe MTRL、PwCエクスペリエンスセンター、Mercari などで、立て続けに報告会が開催されている。

そんななか、本紙はネットとリアルをつなぐ場所「東京カルチャーカルチャー」が主催する『CES2018 大報告会 in Shibuya !!』(1/29) に参加。CES の最新テクノロジー動向の内容も気になるころではあるが、ここではスタートアップ出展者の観点からみたCESでの戦い方や取材陣が感じた日本の存在感の示し方など、グローバルマーケティングの主戦場としての「CES」のリアルを、マーケティングイベントと共有したい。

いかにメディアに取り上げられるか ~「CES unveiled」活用を

メガメディア14社を含め、70社から取材を受けたという「ランドロイド」を出品したセブン・ドリーマーズ・ラボラトリーズ株式会社。阪根代表は、出展ブース前を通る参加者は4日間で1万人ほどだが、「宣伝効果を考えるなら、いかにメディアに取り上げられるかが大切」と、効果設計を踏まえた事前計画の重要性を語った。

具体的にメディアとコネクションをつくる場として効果的だと、阪根さんだけでなく、岩佐さん(株式会社Cerevo 代表)も挙げたのは、「CES unveiled」だ。主催者が用意している出展者とメディアのマッチングの場で、海外のメディア約1500社にプレゼンをする機会を得られる参加無料のイベントだ。ここで、CEOインタビュー、ブースでの取材のポイントをメディアと直に交渉ができ



今回「CES 2018 大報告会 in Shibuya !!」へ登壇したメンバー。

<日本からCESに出展>

写真左上:(左2番目から) 阪根信一さん(セブン・ドリーマーズ・ラボラトリーズ株式会社 代表取締役社長) / 清水啓太郎さん(株式会社ライゾマティクス クリエイティブディレクター) / 藤畝 健司さん(パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社 メディアエンターテインメント事業部 プロダクトソリューションセンター) / 中前省吾さん(エイベックス・エンターテインメント株式会社 レーベル事業本部 ゼネラル・ディレクター)
写真右上:(左から2番目から) 岩佐琢

磨さん(株式会社Cerevo 代表取締役CEO) / 坪内弘毅さん(Scntee株式会社 代表取締役社長)

<CESへ参加>

小田嶋 Alex. 太輔さん(EDGEof, Inc. co-CEO)

<報告会プロデュース/ MC >

写真上2枚ともに両端: MAR'z (西村真里子 from HEART CACTH(右端) & 河原あず from 東京カルチャーカルチャー(左端))

*街を舞台にしたARライブの展示を手がけたパナソニック×エイベックスの話は別号で詳報予定。

る。返事を待たせず、その場で即決できる状態で臨むこともポイントだ。

圧倒的だったフレンチテック ~数で勝負!デザイン性も重要!!

CESで、スタートアップに特化した展示エリア「Eureka Park」を3日間かけて巡ったというEDGEof代表の小田嶋 Alex. 太輔さん。スタートアップを中心としたイノベーション・コミュニティ運営者の視点でトレンドを視察するなか、「フランス勢の圧倒的プレゼンス」が印象的だったと率直に語った。

理由は「Eureka Park」800社のうち、フランスは274社と、開催国の米国の280社に迫る圧倒的社数。そして、統一感あるブースデザインが、目を引き存在感をより一層強くしていたと意匠にも言及した。

数の論理については、「Eureka Park」に香りテックで出展したScntee代表の坪内さんもプレゼンス向上のための課題と話す。日本から参加したスタートアップはわずか6社。国としての存在感も薄く、



「Eureka Park」フレンチテック勢のブース(写真上)、EDGEof代表の小田嶋 Alex. 太輔さん(写真左)

Scntee 社自体CES初参加という点もあって「数千社いるCESの一番端だった」と報告。数によるインパクトは主催者が位置決めする際に影響するのではないかと指摘していた。

また、小田嶋さんは、新しい産業としてスタートアップをどれだけ重視しているか国の姿勢がよく見るとして、フランス勢以外にイスラエルやオランダの健闘ぶりを引き合いに出した。

大報告会後のネットワーキングでは、経産省やJETROとの連携など、国の支援体制を望む声も出ていた。

東京ゲームショウ2017も
公式アプリ
採用!

イベントに特化したアプリで課題を一気に解決!

Eventos

https://eventos.tokyo/

イベントス 検索

bravesoft

資料請求 お問い合わせ 03-6809-6064 (平日 10:00 ~ 19:00) 株式会社 ブレイブソフト / event_contact@bravesoft.co.jp

キャストイング会社、 どこでもいいやと 思っていないませんか?

累計キャストイング実績5,000件 日本一便利なキャストイング会社です!

株式会社エイスリーは、タレント・芸人・俳優・モデル・歌手・アスリート・文化人・専門家・ノンタレ・インフルエンサー・キャラクター等、幅広いジャンルのキャストを幅広い案件に最適マッチングします。必ずお役に立ちます!

- 1 スピード対応
ご相談を頂いてから最短即日でご提案!
- 2 専門知識
キャストイング会社ならではの情報力!
- 3 顧客視点
課題解決の為にアイデア出しからサポート!
- 4 適正価格
安く仕入れ、安く提供! 低予算の案件もOK!

6つのチームが幅広い案件に対応します! インフルエンサーチーム / 広告チーム / 映像チーム / イベント&余興チーム / PR&エンタメチーム / プロフェッショナルチーム

株式会社エイスリー お問い合わせはこちら 〒107-0062 東京都港区南青山2-11-11 ユニマツハイダウェイビル3F ☎ 03-3475-6042 ✉ info@mogmog.tv 🌐 http://herocasting.jp